

2018年8月21日

各 位

薬剤部／薬品情報室（D I 室）

D I ・ BOX # 1 0 9 3

「ジプレキサ錠5mg（制吐用）」の オーダ区分変更について

抗精神病薬・双極性障害治療薬・制吐剤「ジプレキサ錠 5mg（制吐用）」（日本イーライリリー）は、後発医薬品と適応差異があることから「抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）」に限定して入院・外来院内処方を可能としていました。

この度、後発医薬品である『オランザピン OD 錠 2.5mg 「ファイザー」』『オランザピン OD 錠 5mg 「ファイザー」』が「抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）」の適応を取得したため、薬事委員会にて「ジプレキサ錠 5mg（制吐用）」はオーダを中止することとなりました。なお、「ジプレキサ錠 5mg」については引き続き院外処方は可能です。

平成 30 年 8 月 21 日（火）より「ジプレキサ錠 5mg（制吐用）」の入院・外来院内オーダを中止します。

	後発医薬品	先発医薬品
オーダ名	オランザピン OD 錠 2.5mg、5mg 「ファイザー」	ジプレキサ錠 5mg（制吐用）
成分名	オランザピン	
規格	2.5mg／錠、5mg／錠	5mg／錠
適応症 用法用量	・ <u>統合失調症</u> ：成人 5～10mg を 1 日 1 回経口投与により開始。維持量として 1 日 1 回 10mg 経口投与。年齢、症状により適宜増減。ただし、1 日量は 20mg を超えない ・ <u>双極性障害</u> における躁症状の改善：成人 10mg を 1 日 1 回経口投与により開始。年齢、症状により適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えない ・ <u>双極性障害</u> におけるうつ症状の改善：成人 5mg を 1 日 1 回経口投与により開始し、その後 1 日 1 回 10mg に増量。なお、いずれも就寝前に投与することとし、年齢、症状に応じ適宜増減するが、1 日量は 20mg を超えない ・ <u>抗悪性腫瘍剤（シスプラチン等）投与に伴う消化器症状（悪心、嘔吐）</u> ： 他の制吐剤との併用において、成人 5mg を 1 日 1 回経口投与。患者の状態により適宜増量するが、1 日量は 10mg を超えない	
区分	処方／共通	平成30年8月21日（火）より 処方／入院・外来院内オーダ中止

* 詳細・不明な点につきましては医薬品情報室（3194）までお問い合わせください。

* 「DI・BOX」は電子カルテ（EGMAIN）の掲示板およびイントラネットで参照・検索できます。